

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【公開番号】特開 2015-223093 (P2015-223093A)

【公開日】平成 27 年 12 月 14 日 (2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-078

【出願番号】特願 2014-108579 (P2014-108579)

【国際特許分類】

A 2 3 P 20/00 (2016.01)

B 6 5 G 65/48 (2006.01)

【F I】

A 2 3 P 1/08

B 6 5 G 65/48 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 14 日 (2017.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ブラシを環状に備えた回転ブラシが回転する回転軌跡の下側に備えた散粉口から粉体を散布する散粉方法であって、前記回転ブラシを回転自在に内装したブラシ室の上側に、前記ブラシ室に粉体を供給する上ホッパを備え、前記上ホッパは、前記ブラシ室へ向かって径が細く形成されるテーパ部と前記テーパ部の下側に粉体供給口を設け、前記粉体供給口と前記散粉口とを水平方向に偏向して備え、前記散粉口の上側における粉体の堆積高さを前記粉体供給口の高さに維持して散粉を行なうことを特徴とする散粉方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、上記課題を解決するためのものであり、ブラシを環状に備えた回転ブラシが回転する回転軌跡の下側に備えた散粉口から粉体を散布する散粉方法であって、前記回転ブラシを回転自在に内装したブラシ室の上側に、前記ブラシ室に粉体を供給する上ホッパを備え、前記上ホッパは、前記ブラシ室へ向かって径が細く形成されるテーパ部と前記テーパ部の下側に粉体供給口を設け、前記粉体供給口と前記散粉口とを水平方向に偏向して備え、前記散粉口の上側における粉体の堆積高さを前記粉体供給口の高さに維持して散粉を行なうことを特徴とする。